

親善大使に板野さん

恋人の聖地 観光協会設立を発表

NPO法人地域活性化支援センター主催の「プロポーズの言葉コンテスト」青山セントクレリス大聖



左から假屋崎さん、板野さん、桂さん、ウエディング推進大使に任命されたモデルの大石参月さん

6月第一日曜日のプロポーズの日に関連したイベントとして「プロポーズの言葉コンテスト」が行われている。

今年も過去最多の316作品の応募があり、最優秀賞には「いまは不良債権だけど、そのうち当たりの宝くじになるかもしれないけん」。もう一つ、「(大阪府・女性)が選ばれた。

審査員はファッションデザイナーの桂由美さん、華道家の假屋崎晋吾さんら。「若い男性から女性へのプロポーズの言葉が増えている」と総評を行った。

また、コンテストでは4月に、恋人の聖地を最も地域振興に活用した団体として、「第一回 観光交流大賞」を受賞した長野県大町市が新プロジェクトの発表を行った。9月23日から假屋崎さんとともに花を使ったイベント「恋華めぐり」を開催する。今年は大町温泉郷が50周年であることから、地元宿泊施設とも協同し、花や恋人の聖地をキーワードに誘客促進イベントを展開する。

同センターは各自治体が聖地を効果的に地域振興に活用できるように、聖地間の連携や観光振興策の提案などを行う「恋人の聖地観光協会」を設立することを発表。若者の交流人口の拡大を通じて、地域活性化に貢献していく。